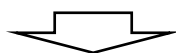


デジタル田園都市国家実現のために

2022.4.27
増田 寛也

1. コロナを経験することにより

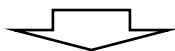
- (1) デジタル、オンラインの活用により
 - ・ 時間と場所にとらわれない働き方が可能に
 - ・ 一度に複数の活動をすることが可能に
- (2) リモートワーク、ワーケーションで
 - ・ 多地域居住、多地域就労が現実のものに
 - ・ 「転職なき移住」の実現



地方創生の前提も大きく変化

2. 一方で、

- (1) デジタル技術はあくまで手段
- (2) 目指すべきゴールは各地域によってまったく異なる
- (3) どんな課題を解消し、どのようなまちづくりを目指すのか
目的設定が重要

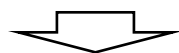


デジタル実装の効果を十分に発揮するために、
幅広い地方創生の取組が引き続き重要

3. デジタル田園都市国家構想＝地方創生

地方を存続させていくという目的は同じ

- (1) 東京圏への一極集中の是正
- (2) 将来にわたって活力のある地域社会
 - ・ 少子高齢化・人口減少への対応
 - ・ 地域経済の活性化
 - ・ 魅力的な地域をつくる（教育・医療）



デジタル実装を支える土台をしっかりと作りながら、
デジタルという手段・技術を使って地方創生を更に推進